

平成27年度 北見工業大学公開講座

寒冷地の暮らしに

貢献する機械工学

積雪寒冷地である北海道は、外気温低下や積雪に起因する諸問題、ならびに冬期間のエネルギー消費量増加などの課題を抱えています。日本最北の国立大学である本学は、このような寒冷地特有の課題解決に向けた特色のある研究を推進しています。本講座では、寒冷地におけるいくつかの課題について機械工学を専門とする講師が平易に解説するとともに、機械工学の知識と技術を用いた課題解決に向けた研究開発の取り組みについて紹介します。

日 時

平成27年 11月24日(火)、26日(木)

12月1日(火)、3日(木) (全4回)

時間はいずれも 18:00 ~ 19:10

会 場

北見工業大学第1総合研究棟2F 多目的講義室

主 催

北見工業大学

受講料

無 料

申込先

北見工業大学研究協力課地域連携担当

TEL : 0157-26-9158 / FAX : 0157-26-9373

E-mail : kenkyu09@desk.kitami-it.ac.jp



写真 : <http://www.s-hoshino.com/>



11月24日(火) 18:00~19:10

講師：高井 和紀 (機械工学科 准教授)

高気密高断熱住宅における換気と室内空気環境

高気密高断熱住宅は北海道からはじまり、日本各地に普及しつつあります。高気密高断熱住宅では、適切な計画換気が必須です。本講座では、室内空気中の揮発性有機化合物 (VOC) の測定事例を交えながら、快適な室内空気環境と換気について紹介します。



11月26日(木) 18:00~19:10

講師：山田 貴延 (機械工学科 教授)

寒冷地域の下水処理場で活躍するバイオガス～有効利用の試みと課題

いま私達の身の回りには再生可能エネルギーの1つとして、バイオエネルギーが注目されています。本講座では、毎日、私達が廃棄している下水から発酵過程を経て得られるバイオガスの有効利用法と課題について、下水処理場の例をあげて紹介していきます。

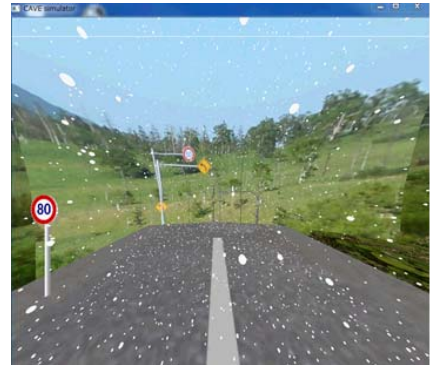


12月1日(火) 18:00~19:10

講師：菅原 幸夫 (機械工学科 准教授)

美幌峠の吹雪はこうなる？

複数の大画面で人間の動きに合わせた立体視が出来る装置が世に出て20年あまり、装置と適用分野は未だに進化・発展しています。本講座ではこの種の装置につき若干の紹介と、本学が所有する装置を用いた、吹雪という天候の視覚的再現について説明します。その後結果を装置で実際に体験してください。



12月3日(木) 18:00~19:10

講師：林田 和宏 (機械工学科 准教授)

ディーゼルエンジンの低温始動性と環境への影響

軽油を燃料とするディーゼルエンジンは、ガソリンエンジンに比べ、厳冬期の低温始動性に劣るといふ課題があります。本講座では、ディーゼルエンジンの低温始動性と排気ガスの関係について説明するとともに、本学で取り組んでいるディーゼルエンジンの低温始動性に関する研究を紹介します。

